



ドキドキ、わ「わ」!

HANYU カメラさんぽ

願い事が、かないますように!



8月7日(金)

第7保育所で七夕会が行われ、子どもたちがマコモで馬を作成。この馬作りを指導してくれた方は、下岩瀬にお住まいの森田博さん。子どもたちは自分で作った馬に満足そうな様子でした。



どこまでも飛ぶぞ!



8月23日(日)

キャッセ羽生で「子ども納涼まつり」が行われました。中でも、ムジナもん・いがまんちゃんの紙飛行機づくり教室が大人気。子どもたちは、ゴムで空高く飛ばす紙飛行機を楽しんでいました。

8月29日(土)

さいたま水族館では、11月29日までの土・日曜日および祝日に、カナディアンカヌー体験を実施中です。大きな蓮の葉をかき分けて進む風景は、まさにジャングル。子どもたちは、大きな三田ヶ谷池を目指してうれしそうにオールを漕いでいました。

おめでとう
ございます!



東中学校出身の臺壮嗣くんが、剣道の団体戦(高校の部)で県大会で優勝し、全国大会へ出場。まだ2年生の臺くん、全国大会での優勝目指して頑張れ!

こんな大きさは
初めてです!



堤にお住まいの天笠孝雄さんの畑で、大きなスイカが実りました。このスイカの重さは、なんと17kg。天笠さんもびっくりした様子でした。

流れてくる味は最高!



8月8日(土)

須影公民館では、小学1・2年生の親子を対象に家庭教育学級を開催。子どもたちは、約23mの竹どいを流れてくる冷たいそうめんを、うれしそうに食べていました。

響け! 羽生の音色



8月2日(日)

友好都市の福島県金山町で、湖水まつりが行われました。羽生市から「旭町おはやし保存会」の皆さんが演奏を披露。沼沢湖に太鼓や笛の音色が響きわたり、会場から惜しみない拍手が送られていました。

なぜ? どうして?



8月1日(土)

羽生第一高等学校で、小学生とその保護者約40名が参加し、子ども科学実験教室が行われました。杉山校長先生は、なぜ? どうして? をくり返し、新たに発見する楽しさを感じて欲しいと話してくれました。

はにゅうのおいしい地下水をどうぞ

市制施行55周年を記念して羽生市では、安全な羽生の水のPRと災害時の備蓄飲料水を目的に、羽生市の地下水を精製した「はにゅう水」を500mlペットボトルで販売を開始しました。

ラベルにはムジナもんを代表とする市のキャラクターが仲良く囲んでおり、ミネラル含有量の目安となる「硬度」が154mg/lと大変高く、健康にも良いといわれています。

ぜひ、おいしい『はにゅう水』をご賞味ください。

- ▷ 価格 100円(1本)
- ▷ 販売場所 キャッセ羽生・道の駅はにゅう・ジャスコ羽生店・市役所ホール・市水道課
- ▷ 問い合わせ 市水道課 ☎(561)0969



8月1・2日と、友好都市・福島県金山町の湖水まつりに、旭町おはやし保存会などの皆さんと出かけました。ご一緒させていただいた旭町の皆さんは、中学生から高齢の方まで幅広い年齢層でしたが、道中でも宿でも家族のような雰囲気、時には孫とおじいちゃんの掛け合いを見ているような光景もあり、とても愉快で和やかな方々でした。お祭りでは見事なお囃子や踊りで、会場を「お祭り」という雰囲気にしていただきました。ちょうど仕事で落ち着かない日々を送っていた時期でしたが、お蔭様でのんびりと落ち着いた時間を過ごすことができました。旭町の皆さん、お世話様でした。



8月29日、カヌー体験取材のため、水郷公園へ。しかし、目当てのカヌー体験がいつかに行われず、時間が過ぎるばかり。仕方なくあきらめかけた頃、蓮の葉がひしめき合っている水路で、「パシャ」という水音。水辺に走って行くと、子どもとお父さんの3人が楽しそうにカヌーを漕いでいる姿。思わず私もにっこり。大きな蓮をかき分けて向かってくるカヌーは、まさにジャングルを探検しているかのような様子。話を伺ってみると、家族4人で和光市から来たそうです。小学4・6年生の兄弟は、すぐおもしろかったと興奮気味で話してくれました。これから羽生のニューススポットとして、注目されそうですね。